

# はこじ郎の ぶらぶら ジオ日記

今回も南足柄市のジオサイトから「清左衛門地獄池」を紹介するね。

ここは平成の名水百選にも認定されている湧水で、箱根火山とも深い関わりがあるんだ。

水源は箱根火山の外輪山である明神ヶ岳で、1日に1.3万トンの地下水が湧き出しているよ。言い伝えでは、江戸時代、この地域が水不足で困っていた際に、加藤清左衛門という人が水源を探しに来たところ、馬もろとも地中深くに落ちてしまい、そこから勢いよく水が湧き出てきたそうだよ。でも、近くには馬場遺跡という縄文時代の遺跡があるから、この地は昔から水が豊富で人が住んでいた場所と考えられているよ。中の島には敵島神社池があり、畔にある弁財寺は江戸時代初期、箱根塔ノ沢にある阿弥陀寺の開祖である弾正上人が開山したと伝えられているよ。

この湧水の水源である明神ヶ岳は、27～23万年前に活動していた成層火山。成層火山とは何度も噴火を繰り返し、溶岩と火山灰などの噴出物が交互に積み重なった円錐状の山で、代表的な山としては富士火山が有名だね。ちょうど火山噴出物がスポンジのような役割をし、ビルの貯水タンクのように高いところに多くの水を蓄えることができるから、麓では水が豊富に湧き出るんだって。この水を求めて多くの企業が進出してきたことで、南足柄市は発展してきたんだね。



「清左衛門地獄池」へは、伊豆箱根鉄道大雄山線「富士フィルム前駅」から徒歩20分  
※「南足柄ジオガイドの会」がご案内します  
お気軽にお問い合わせください！  
(Tel.0465-73-8001)



南足柄市ふるさと大使「よいしよの金太郎」

**箱根ジオパークサポーター講座  
第4回「箱根温泉について」**

箱根二十湯とも言われるほど源泉や泉質が豊富な箱根温泉。温泉の湧出は、その場所の地形や地質などの地下構造によって決まるため、箱根火山と密接な関係にあります。

今回は、県温泉地学研究所 菊川城司主任研究員を招き、箱根火山の恵みである「温泉」についてお話を伺います。

みなさんの参加を待っています！

**日時** 3月8日(木)18時30分～20時

**会場** coco-Hakone (ココハコネ) 箱根町湯本475-1

**対象** どなたでもご参加いただけます

**定員** 20名(先着順)

**参加費** 1,000円(ドリンク&軽食付)

**申込方法** 住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、箱根ジオパーク推進協議会事務局に電話、またはメールで申し込んでください。

**申込・照会先** 箱根ジオパーク推進協議会事務局(企画課内)  
☎85-9560

☐hakojiro@town.hakone.



**箱根ジオミュージアム企画展  
「ほんごり温泉展」**

箱根ジオミュージアムでは箱根の温泉について模型やパネルで紹介する企画展「ようこそ箱根へ〜ほんごり温泉展〜」を開催します。

大涌谷の蒸気を利用する蒸気井温泉や地下の温泉をくみ上げる揚湯泉について、体験型の模型を通して学ぶことができます。温泉の色の観察コーナーや泉質おみくじもあります。

**日時** 2月4日(日)～4月8日(日)

**場所** 箱根ジオミュージアム展示室

**照会先** 箱根ジオミュージアム  
☎83-8140

箱根町は平成28年3月に、芦ノ湖周辺が森林セラピー基地の認定を受けました。森林セラピー基地は現在全国で62か所あり、神奈川県では、厚木市、山北町に続いて3番目となります。

それでは、「森林セラピー」とは何でしょう？「森林浴」という言葉は、箱根町でも「森林浴ウォーク」というイベントがありますから名前をご存じの方が多いと思います。森林浴とは、人間と森林などの自然環境のシンクロ状態による、「快適性の増進」効果を目指す定義だとされています。しかし、森林浴が健康に良さそうだということは、わかってはいるものの、実際に森林浴が健康に良いとすることを科学的に証明する方法が確立されていませんでした。この科学的エビデンス(証拠)に裏付けられた効果が、森林セラピーです。

**「森林セラピー」って知っていますか？**  
箱根芦ノ湖森林セラピー基地通信(その1)



現在町では、森林セラピー基地において、森林セラピーを体験していただくイベントを開催しています。次回はそのイベントについて紹介したいと思います。

**照会先** 森のふれあい館  
☎83-6006

## 箱根町『園・小・中学校一貫教育(分離型)』

### 箱根中学校施設長寿命化編

町内唯一の公立中学校である箱根中学校の校舎等については、平成30年度の長寿命化改良工事着工に向けて、平成28年度に長寿命化改良事業の基本設計を作成し、平成29年度では実施設計を作成しています。校舎などは、耐震性は非常に高いが、老朽化している建物であることが事前調査により判明したため、建替ではなく、建物の構造を変更せずにリニューアルする長寿命化改良の方法を選択しました。また、長寿命化改良事業については、次の4つの観点から着手しています。

- ①防犯・防災に強い学校として「安心・安全を保障できる学校」
- ②箱根らしさが漂う学校として「楽しい学校生活が送れる学校」
- ③小・中一貫教育の拠点となる学校として「園・小・中一貫教育の拠点となる学校」
- ④地域コミュニティの核となる学校として「地域、保護者、ボランティアが集える学校」

この4つの観点から整備を進めるため、平成28年9月から平成30年1月まで、学校関係者や各小・中学校のPTA代表、自治会代表者などから構成する「箱根町立箱根中学校施設長寿命化改良検討委員会」を設置して、7回開催した委員会において議論を重ね、基本設計及び実施設計に意見を反映させました。平成30年度には校舎に、平成31年度には屋内運動場とグラウンドを含めた外構に着手し、平成32年度にはリニューアルした箱根中学校として、皆さまから親しまれる学校づくりに取り組んでいきます。

- 【検討委員会の主な意見】**
- 学校統合の思い出ルームの設置
  - 全校生徒が入れる教室の設置
  - 校舎内を明るくする
  - 生徒が相談しやすいカウンセリング室の位置の配慮
  - 図書室とパソコン室を一体化するなど、教育の多様化への対応



箱根中学校施設長寿命化改良検討委員会